SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

平成24年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 静岡大学技術部 公開日: 2013-03-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森内, 良太 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007117

平成 24 年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修

森内　良太
静岡大学技術部　教育研究支援部門

１．　はじめに

平成 24 年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修（電気・電子コース）に参加したので、下記のように報告する。参加者の構成として、8 割は普段工学系の業務に携わっている職員であったが、自身を含め 2 割は生物・医薬系の業務に携わっている職員であった。実習コースについて、私は A コースを選択した。

２．　研修の概要

期間　　平成 24 年 9 月 5 日（水）～9 月 7 日（金）
会場　　国立大学法人　名古屋大学（愛知県名古屋市）
受講者　23 名　　内訳は下記のとおり
　富山大学―2、北陸先端科学技術大学院大学―2、福井大学―1、静岡大学―1、名古屋大学―3、
　名古屋工業大学―2、豊橋技術科学大学―1、三重大学―1、国立遺伝学研究所―1、
　基礎生物学研究所―1、生理学研究所―1、分子科学研究所―1、富山高等専門学校―2、
　福井工業高等専門学校―2、沼津工業高等専門学校―1、鈴鹿工業高等専門学校―1
実習コース（2 コース）
　A（12 名）: USB 機器を作ろう
　B（11 名）: アクティブフィルタの設計・製作

３．　研修内容

1 日目（9 月 5 日）
9：00　受付、開講式
10：00　講義 1「自然エネルギー100%の暮らしを実現する技術開発」高野　雅夫　准教授
11：00　講義 2「シンクロトロン光が拓くものづくりイノベーション」馬場　嘉信　教授
13：00　講義 3「OPERA 実験におけるニュートリノ研究」中村　光廣　准教授
14：00　講義 4「短波レーダーによる地球電離圏研究」西谷　望　准教授
15：00　受講者プレゼンテーション（自己紹介）
17：30　写真撮影（図 1）、意見交換会

図 1　集合写真

2 日目（9 月 6 日）
9：00　実習の概要説明
10：00　テスト回路製作と動作確認
13：00　Visual Basic を用いたプログラミング講習
15：00　USB 機器を操作するプログラミング実習
17：00　基本粒子研究室訪問（オプション）

3 日目（9 月 7 日）

9：00　USB 機器を操作するプログラミング実習

10：30　製作したアプリケーションの動作確認

14：00　あいち産業科学技術総合センター見学

14：30　中部シンクロトロン光利用施設見学（図 2）

16：00　閉講式

図 2　シンクロトロン光発生装置

図 3　実習の様子

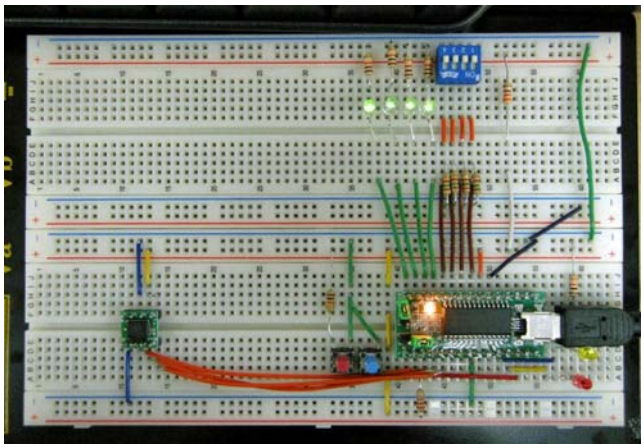

図 4　作製したブレッドボード

4．　まとめ

今回の研修において私は、テスト回路の作製とプログラミングに関する技術を学んだ（図 3）。講師である名古屋大学技術職員の皆様が丁寧に指導して下さり、門外漢の私でも、製作したアプリケーション上のボタンを押せばブレッドボード上の LED が点灯する、あるいはつないだモーターの速度を制御できるような USB 機器を作製することができた（図 4）。研修のオプションとして、中村光廣先生が所属されている基本粒子研究室を訪問する機会を頂き、素粒子の飛跡を記録する写真フィルムである原子核乾板や、飛跡を解析する最新の飛跡読取装置を見学させて頂いた。11 ヶ国、30 機関が参加する国際共同研究である OPERA の中枢現場を間近で見学できたことは、大変貴重な経験となった。また本研修では若手職員も多数参加されており、意見交換会等を通して親交を深める良い機会となった。

最後に、名古屋大学全学技術センター技術職員の皆様、講義を担当された先生方、総務部職員課の皆様、あいち産業科学技術総合センター職員の皆様、並びに中部シンクロトロン光利用施設職員の皆様に、この場をお借りして感謝の意を表します。